

文教大学情報学部 社会調査 研究報告

S N S の コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 効 用

2011年 1月

情報学部 広報学科 3 年

工藤 志帆

目次

第1章 調査研究の概要	
1.1	調査の目的と背景 2
1.2	調査に関する動向 2
1.3	調査研究の方法 3
1.4	成果の概要 5
(1)	主な成果
(2)	その他の成果
第2章 調査研究の成果	
2.1	調査回答の概要 7
2.2	利用状況 8
2.3	利用目的とコミュニケーションの関わり 9
2.4	mixiの利用度と学生の性格の関係性 11
2.5	mixiの利用度と学生の交友関係 13
2.6	新たな友人作りが目的のmixi利用者の特徴 15
第3章 まとめと今後の課題 18	
参考文献 19	
単純集計表 20	

第1章 調査研究の概要

1.1 調査研究の目的と背景

インターネットの発達により、インターネットを介したコミュニケーションは増加している。その中でも近年、顕著に利用の増加が見られるのは SNS (social networking service) である。SNS とはインターネット上で人と人とのつながりを促進するための登録制コミュニティ Web サイトのことで、趣味や目的に応じて実に様々な種類・規模のものが存在する。その中でも国内で最も利用者数が多く、認知が高い SNS は『mixi』である。mixi は実に多くの人々に利用されており、2009 年には登録者数が約 1800 万人に至っている。文教大学内でも利用率は高い。

mixi は登録者同士のコミュニケーションを主な目的とした SNS である。mixi 内で相互に承認しあった知人・友人は、各人のページに『マイミク』として友人登録される。日記の書き込みや、コミュニティといった共通の趣味が集まるグループに加わることによって様々な mixi ユーザーとの交流が可能である。顔見知り同士でマイミク関係を結んだり、インターネット上の知り合いとマイミク関係を結んで交流を深めたりと利用方法はユーザーによって様々である。

mixi 利用の浸透により、学生のコミュニケーション行動はより多様になったと考えられる。学生は mixi をどのように利用しているのだろうか。また、mixi は学生のコミュニケーションの一環としてどのような役割を担い、果たしているのだろうか。実際に mixi を利用することで交友関係にどのような影響がもたらされるのであろうか。

mixi の利用方法、利用目的、利用頻度などによって学生の交友関係や交友関係に対する意識、性格にどのような関連があるのか調査することにした。

1.2 調査に関連する状況

mixi にはコミュニケーション促進に便利な様々な機能が備えられており、登録すれば誰もが気軽に利用できる。登録者にはそれぞれプロフィールを記入したり日記を書いたり出来る個人ページが与えられる。そして、登録者なら誰でも各人のプロフィールにアクセスすることが出来る。始めはパソコンからの利用しか出来なかったが、のちに『mixi モバイル』として携帯電話からの利用も可能になった。mixi はコミュニケーションをより手軽にし、いつでもどこでも人とのつながりを感じられるサイトとして人気を博した。

2004 年 3 月の設立当初、登録者数 600 人であった mixi は年々登録者数を増加させ、2009 年には登録者が約 1800 万人に達している。ここ数年では twitter の利用増加も顕著なものとなっている。遠く離れた地に住む日ごろ会うことが困難な相手とのコミュニケーションのみならず、普

段会う友人とのコミュニケーションも、SNS 等インターネットを介して行なわれることが多い。インターネットサイトを通じて他者との交流をはかることは人々のコミュニケーション行動の環境となりつつある。

mixi を始めとした SNS サイトは、主に「知人・友人関係の強化」、「新たな人間関係の構築」、「知識・興味の開拓」という 3 つの目的により利用されていることが多いことが過去の調査により明らかになっている。(小寺敦之 2009) 今調査は mixi の利用目的や利用方法と利用者の交友関係・性格に関連があるかどうか、また、あるとしたらどのようなものか調べることをコンセプトとする。mixi が学生の交友関係に及ぼす影響とはなんだろうか、交友関係に関わるどんな効果に期待して mixi を利用しているのだろうか。

今調査に mixi を用いる理由として、mixi は国内最大の SNS であるため利用者数も他の SNS に比べ多く、学生の間広く浸透していることから、多くのサンプルを収集することが可能であるという点が挙げられる。また、mixi 内にはコミュニケーション促進のための様々な機能があるため、利用者の交友関係によって各機能の利用状況に差があるかどうかを機能の特徴にも注目して分析出来ると考えた。

かつて、mixi の利用状況についての調査は数々行なわれてきたが、利用者の交友関係との関連についてはあまり分析が進んでいない。mixi 利用状況と利用者の交友関係との関連を調べることは、インターネットを介したコミュニケーション行動の動機の分析にも繋がっていくだろう。

また、小寺(2009)はメディアの「利用と満足」研究から、社会生活はメディアに、メディアは同機能を果たす別のメディアに代替される可能性があることから、メールが mixi 利用に代替され得るといった仮説をたてて mixi とメールの相関を調査している。結果、mixi とメールには正の相関があり、mixi の利用時間が増えても必ずしもメールの頻度が減少するわけではないという結論に至っているが、では、メール以外のツールや他のコミュニケーションサイト利用に関してはどのような相関を示すのか調査する価値はある。

学生の交友関係に対する意識はどれほど mixi でのコミュニケーションに関わっているのだろうか。また、mixi が学生の交友関係に与えている効果とは何だろうか。

1.3 調査研究の方法

(1) 進捗経緯

mixi に関する過去の研究レポートを参考に調査票を作成した。mixi の利用に関わる設問と実生活での交友関係や利用者の性格に関わる設問を用意し、大学の講義にて調査票を配布・回

収した。

(2) 調査の概要

a. 調査の意図

- ・ 学生の mixi 利用状況の把握 (利用者割合、利用頻度他)
- ・ mixi の利用目的調査
- ・ 利用方法調査 (よく利用する機能や書き込み頻度など)
- ・ 学生の実生活での交友関係と mixi 上での人間関係の関連性調査
- ・ 学生の性格と mixi 利用方法の関連性調査
- ・ mixi 利用に代替するコミュニケーションサイトやツールの有無

b. 調査対象者

文教大学 湘南キャンパスの大学生

対人コミュニケーション論受講者 59 名と広報概論受講者 74 名 計 133 名

c. 調査方法

調査票配布による集合調査

d. 主な質問項目

- ・ mixi 利用の有無
- ・ よく利用する機能
- ・ アクセス頻度 / 一日平均利用時間
- ・ 利用目的
- ・ マイミク数
- ・ コミュニティ参加数
- ・ 日記、つぶやき、コミュニティへの書き込み頻度
- ・ mixi 以外のコミュニケーションサイト・ツールの利用状況
- ・ 部員 (サークル員) 数、アルバイト員数
- ・ 大学で雑談をする人の数 / 挨拶をする人の数
- ・ 付き合いの長い友人数 / 悩み相談できる友人数
- ・ 性格に関わる問 他

e. 発想数 (依頼数) と回収数

発想数...137 票 回収数...137 票 (100%) 有効回答数...133 票

1.4 成果の概要

(1) 主な成果

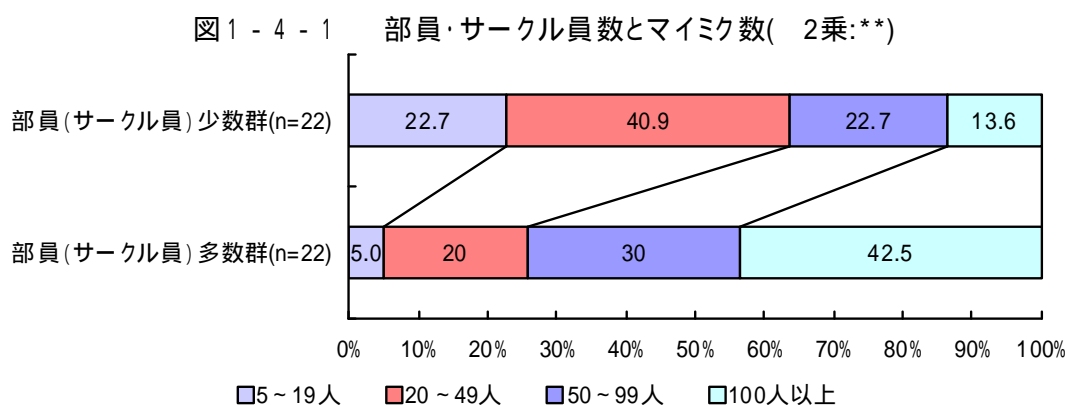
【mixiの利用状況】

mixi は実に多くの学生に利用されていることが判明した。回答者の65%が、今現在 mixi を利用しており、過去に利用していた者をあわせると7割以上に及ぶ。

【利用目的と学生の性格・交友関係との関係】

mixi の利用目的は「情報収集」の割合が最も高かった。次いで「知人・友人との仲を深める」「新たに友人を増やす」と続いた。

コミュニケーションとしての利用は、実生活での交友関係を補完する使われ方をしていた。実生活での知人・友人関係が mixi 上に反映されているパターンが多いようだ。部員(サークル員)が多いほどマイミクの数が多いことから明らかである。



その他、マイミクが多い人は大学外の友人も多いなど、実生活での交友関係が広いほど、mixi 上での交友関係も広がった。(マイミクが多い。)

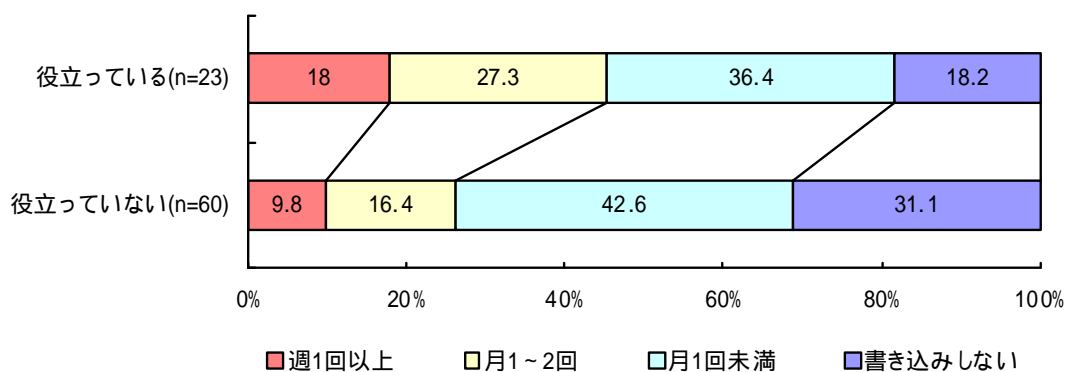
また、アクセス頻度が高いほどコミュニケーションに関する利用度合いが強く、孤独に対する不安感が大きい傾向が見られた。実生活でもオンラインでも他者とつながりを持っていたいと思う利用者ほど、mixi を頻繁に利用しているようだ。

新規友人作りに関しては関心が薄い利用者が多かった。マイミクまでにしか日記を公開していない利用者や、顔見知りしかマイミク承認しない利用者が多く、もともと新規人間関係の開拓をする気はなく、あくまで知人・友人間での利用に限られている傾向が見られた。

【新たな友人関係の構築に mixi が果たす役割】

全体としては新規友人作りのための利用は少ないが、一部では新たな友人関係の構築に mixi を役立てている利用者も存在する。その利用者はコミュニティや日記、つぶやきなどへの書き込み頻度が高かった。

図1 - 4 - 2 mixiの友人作り役立ち具合と日記書き込み頻度



書

き込みをする利用者ほど、mixi 内で新たな友人関係を構築しやすいようだ。

(2) その他の成果

- ・ mixi の利用頻度、利用時間、マイミク数には正の相関が見られた。
- ・ 他者とのコミュニケーションに積極的な利用者はマイミクが多い。
- ・ 男性より女性の方が mixi での交流が盛んである。
- ・ 貰うコメントが多い人ほど友人と深い仲を築いている。
- ・ 学年が上がるにつれ、mixi の利用度が減少する傾向にある。
- ・ 他のコミュニケーションサイトやツール（ブログ、twitter 他）は mixi 利用に代替するほどの影響を与えていなかった。

第2章 調査研究の成果

2.1 調査回答者の概要

有効回答者は文教大学の大学生 133 名で、大学の講義による集合調査である。(対人コミュニケーション論 59 名、広報概論 74 名)

なお、回答標本は無作為抽出で作成してはいないために、母集団から見て標本に偏りを生じる可能性がある。そこで回答者の分布を、表 2 - 1 - 1 と表 2 - 1 - 2 で確認しておく。表 2 - 1 - 1 の学年別の分布では、1 年の回答者はおらず、2 年 47% と 3 年 43% が大半を占めており、4 年は 10% 程度となっている。また、表 2 - 1 - 2 の性別の分布では、男子が約 37%、女子が約 62% となっている。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である。しかしクロス集計やグループの平均などの層化を行なった集計では、影響は限定されると考えられる。

表 2 - 1 - 1 回答者と母集団の比較

	1 年	2 年	3 年	4 年	無回答	計
回答者	0.0 (0)	46.6 (62)	42.9 (57)	9.8 (13)	0.8 (1)	100.0 (133)
情報学部 学生	26.3 (549)	24.2 (506)	23.5 (490)	25.9 (541)		100.0 (2086)

表 2 - 1 - 2 回答者と母集団の比較

	男子	女子	無回答	計
回答者	36.8 (49)	62.4 (83)	0.8 (1)	100.0 (133)
情報学部 学生	66.3 (1383)	33.7 (703)		100.0 (2086)

(注) 母集団は情報学部 2010.09 末時点である。

2.2 利用状況

調査により、文教大学内では約65%の学生が現在 mixi を利用していることがわかった。「以前は利用していたがやめた」と答えた回答者を含めると、およそ7割が mixi を利用したことがあるという結果だった。mixi の利用は学生に広く浸透しているようだ。

また、学生によって mixi の利用度には差があることがわかった。まずアクセス頻度だが、「1日1~4回」と答えた学生が最も多く30%、次いで「1日10回以上」「1日5~9回」と答えた学生が同率で28%だった。全体的にアクセス頻度は高いと言える。

アクセス頻度と利用時間の関わりを調べるため、アクセス頻度を、1日5回以上のアクセス高頻度群と1日4回以下のアクセス中・低頻度群で二分し、利用時間とクロス集計を行った。結果が表2-2-1である。

図2-2-1 アクセス頻度と1日の利用時間
(2乗:**)

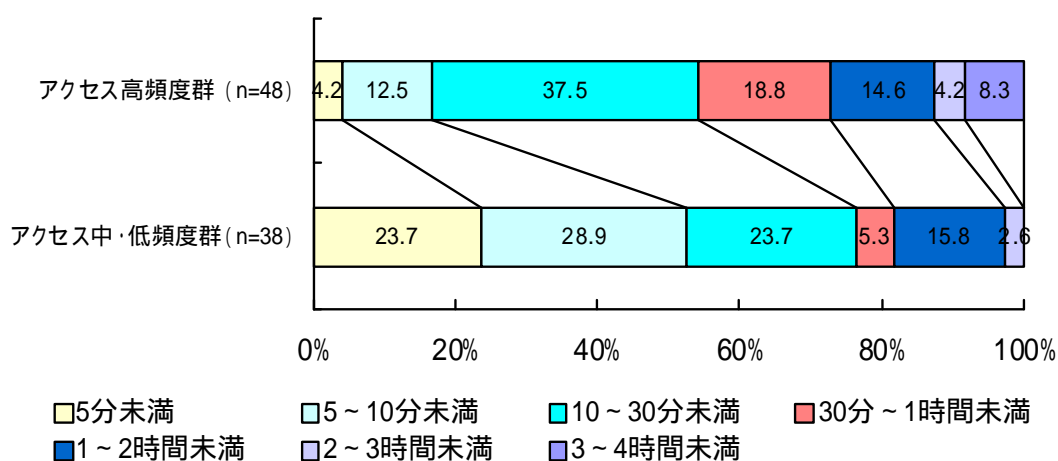


図2-2-1より、mixiへのアクセス頻度が高い人ほど利用時間も長くなる傾向があることがわかった。高頻度群は一日平均約54分の利用で、低頻度群は約29分だった。およそ25分程度、利用時間に差があることがわかった。

また、マイミク数と mixi の利用度に関わりがあることも調査によりわかった。マイミク数は学生によってバラつきがあったが、最も多かったのは100人以上と答えた学生33%で、以下、30~49人の22%、70~99人の14%と続く。マイミク数を49人以下のマイミク少数群と50人以上のマイミク多数群に二分してアクセス頻度や利用時間とのクロス集計を行った。

図2 - 2 - 2 マイミク数とアクセス頻度 (2乗:**)

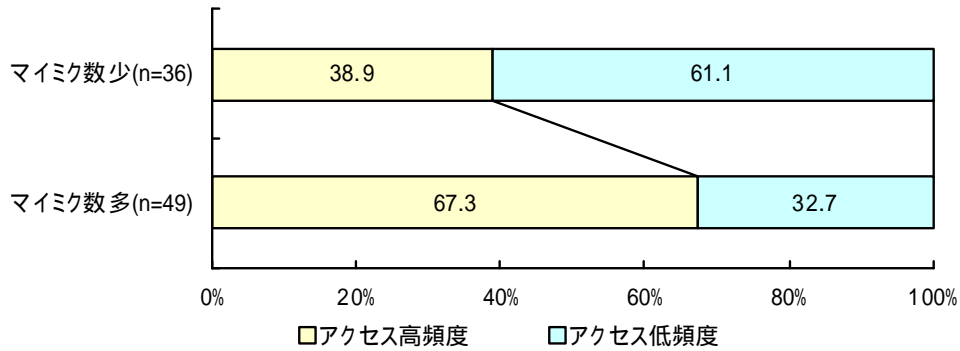
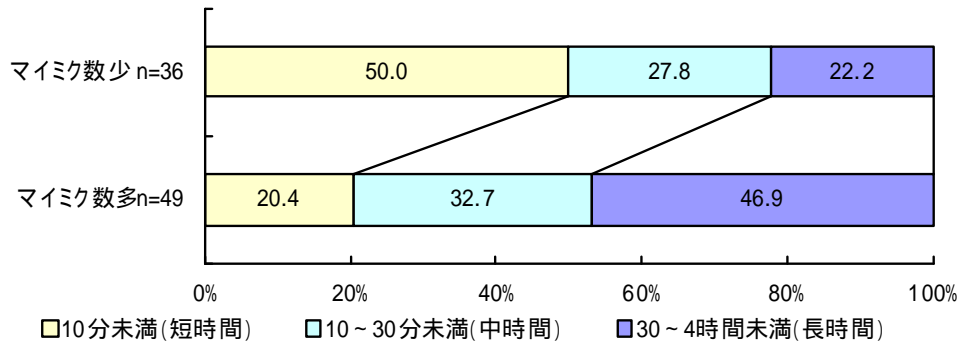


図2 - 2 - 3 マイミク数と一日の利用時間 (二乗 = **)



結果、どちらのクロス集計にも有意差が表れた。マイミク数が多い学生ほど mixi へのアクセス頻度と一日平均利用時間が長い傾向が見られた。mixi の利用度にはマイミクの多さが関わっており、利用度が高い人はマイミクとのコミュニケーションに割く時間が多いと推定できる。

以上から、mixi へのアクセス数、mixi の 1 日平均利用時間、マイミクの多さは正の相関があることがわかった。

2.3 利用目的とコミュニケーションの関わり

mixi の利用度によって利用目的に違いがあるか検討することにした。mixi の利用度が高い学生はどんな目的で、どんな期待を持って利用しているのだろうか。

調査では mixi が「情報収集」「友人・知人との交流」「新たな人間関係の構築」にどれほど役立っているかを、それぞれ「1.役立っている」から「4.役立っていない」までの4段階の選択肢で回答を得ている。この回答の選択肢番号の平均値をアクセス頻度別のグループごとに求めてグラフ化したのが下記の図2 - 3 - 1である。(なお、理解促進のためグラフ上では「1.役立っていない」~「4.役立つ」と数字の順序を書き換えた。)

図2 - 3 - 1 アクセス頻度とmixiの目的別役立ち程度

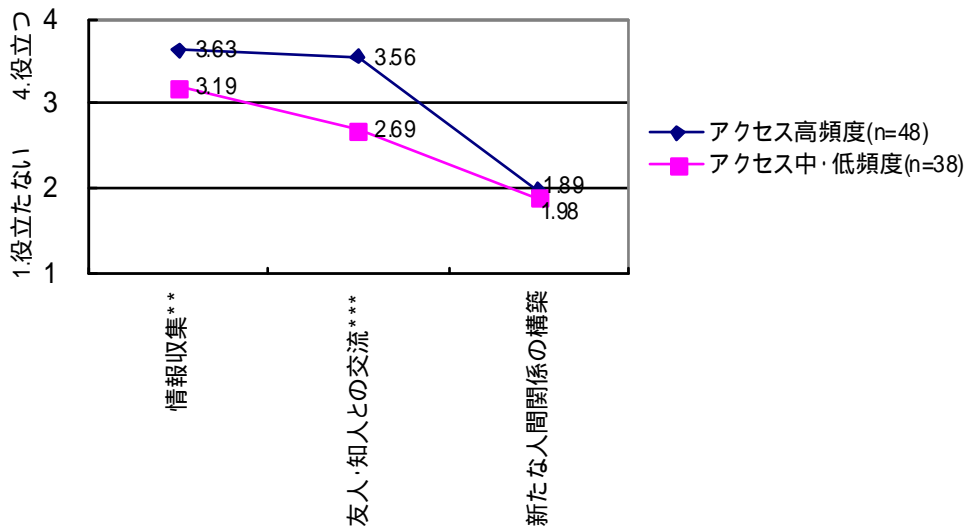
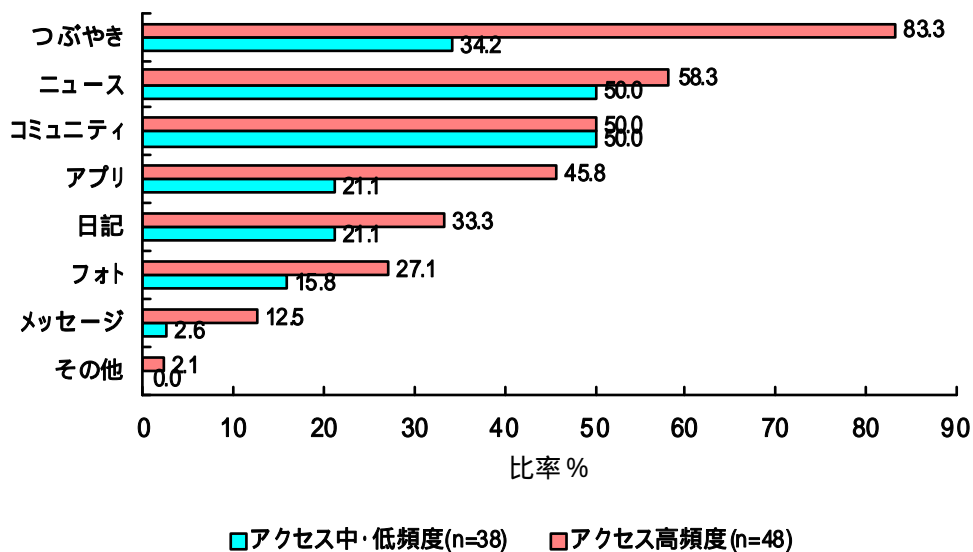


図2 - 3 - 1より、アクセス頻度によって利用目的・mixiの役立ち具合には差があることが分かった。まず全体としては、「情報収集」のための利用が最も多く、次いで「友人・知人との交流」、「新たな人間関係の構築」という順だった。グループを比較すると、どの項目でも、アクセス高頻度群は中・低頻度群より役立ち具合が高かった。また、情報収集、既存の友人関係の強化を目的とする利用に有意差が見られた。アクセス頻度が高いほど、アクセス頻度が低い人に比べ、情報収集と既存の友人関係強化にmixiを利用する傾向があった。新たな友人関係の構築に関してはどちらのグループも役立ち具合が低く、有意差も見られなかった。

図2 - 3 - 2 アクセス頻度とよく利用するmixiの機能



mixi内でのコミュニケーションは既存の友人・知人との関係を補強するのが中心であり、新た

な人間関係の構築にはあまり利用されていなかった。他の調査項目で、日記の公開範囲が「友人（マイミク）まで公開」と回答した人が約7割、マイミク承認の基準が「顔見知りのみ承認」と回答した人が6割以上いるように、mixiでの新たな人間関係の構築に関してはもともと無関心・消極的な利用者が多いように見られた。

利用度によって利用目的・役立ち具合に差があることは分かったが、具体的に mixi で利用する機能には差はあるのだろうか。

アクセス高頻度群が最も利用しているのはつぶやきで、8割を超える利用となっていた。アクセス中・低頻度群はニュース、コミュニティの利用が最も多く、50%だった。

ここで注目したいのが、アクセス高頻度群は、つぶやき、アプリ、日記などコミュニケーションに関わる機能が多いということだ。また、ニュースやコミュニティなど情報収集に関する利用もしている。(コミュニティは、情報収集の機能と、同じ趣味・趣向を持つ友人を作るためのコミュニケーションに関わる機能の両方を持ち合わせているが、今調査でコミュニティは主に情報収集のために利用されていることが分かった。)それに対し、アクセス中・低頻度群はニュースやコミュニティなど情報収集に関わる利用が多く、コミュニケーションに関わる利用はあまり見受けられなかった。つまり、mixiの利用度が高い人はmixiを主に既存の友人とコミュニケーションをとるため利用しており、mixiの利用度が低い人は主に情報収集のための利用であることが分かった。

2.4 mixiの利用度と学生の性格の関係性

2.3によりmixiの利用目的によって利用度に違いがあることはわかったが、mixiの利用度と学生の性格・特性との関連はあるのだろうか。まず、アクセス頻度と利用者の性格との関連を分析した。

調査では、利用者の性格に関わる問いに、「1. そう思う」から「5. そう思わない」までの5段階の選択肢で回答を得ている。この回答の選択肢番号の平均値をアクセス頻度別のグループごとに求めてグラフ化したのが下記の図2-4-1である。(なお、理解促進のためグラフ上では「1. そう思わない」～「5. そう思う」と数字の書き換えを行なった。)

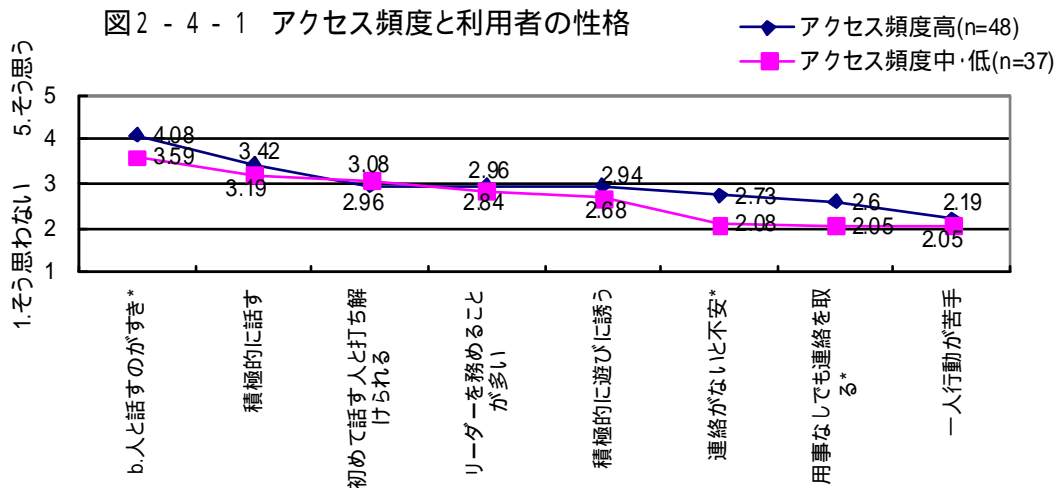
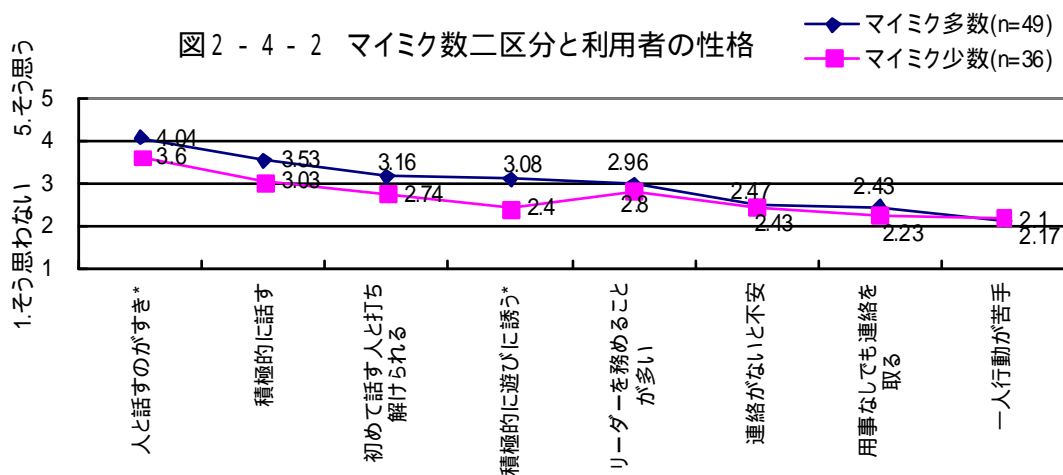


図2 - 4 - 1 より、アクセス頻度によって「人と話すのがすき」「連絡がないと不安」「用事なしでも連絡を取る」と答えた回答者に有意差が見られた。「連絡がないと不安」「用事なしでも連絡を取る」という回答は、どちらも孤独不安や他者依存に関わるものであり、アクセス頻度が高いほど不安を感じる度合いが大きいようだ。人とのつながりを常に感じていたいという孤独感が mixi のアクセス頻度を促進させていると見られる。他者とのコミュニケーションに関わる問いに関して有意差が見られたのは「人と話すのがすき」という項目のみであったが、全体的にアクセス頻度が高い回答者はアクセス頻度中・低回答者に比べ、他者とのコミュニケーションに積極的な回答が見られた。



それではマイミク数によって性格の差は見られるだろうか。調査した結果が図2 - 3 - 2である。こちらのグラフはマイミク数別のグループごと性格に関する回答の平均値を算出し、グラフ化したものである。(先ほどのグラフ同様、理解促進のためグラフ上では「1. そう思わない」～「5. そう思う」と数字の書き換えを行なった。)

マイミク数による性格差では、「人と話すのが好き」「積極的に遊びに誘う」の二項目で有意差が見られた。孤独不安・他者依存に関する問いには有意差が見られなかった。有意差のあった項目は二つだが、マイミクの数が多いほど、他者とのコミュニケーションに積極性が見られた。他者とのコミュニケーションに積極的な姿勢が、結果的にマイミクの増加を促しているのであろう。

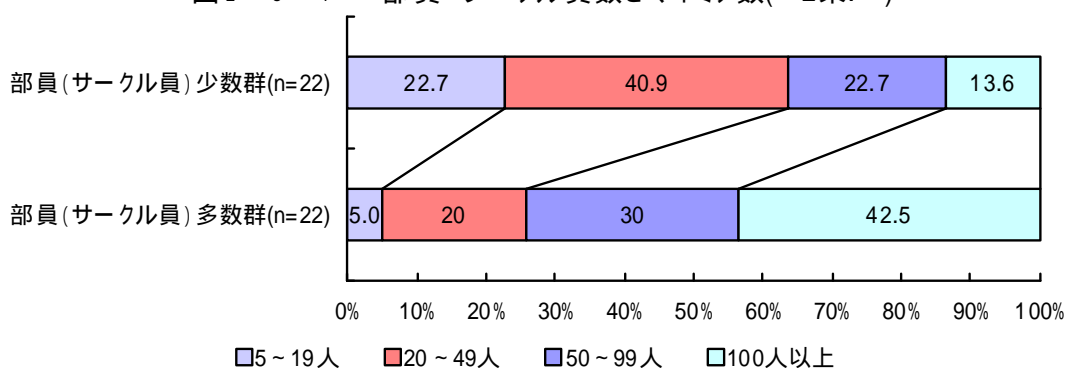
以上二つの表から、アクセス頻度は主に孤独不安・他者依存に関係しており、アクセスが多いほど他者と繋がってみたい感情が大きい傾向があることが分かった。また、マイミク数の多さは他者とのコミュニケーションの積極性と関わっていることが分かった。

2.5 mixi の利用度と学生の交友関係

mixi の利用度と学生の実生活での交友関係にはどんな関わりがあるのだろうか。関係性を調べることにした。

まず、部員・サークル員数やアルバイト員数など、利用者の身近な人間関係と mixi についての関連を調査した。

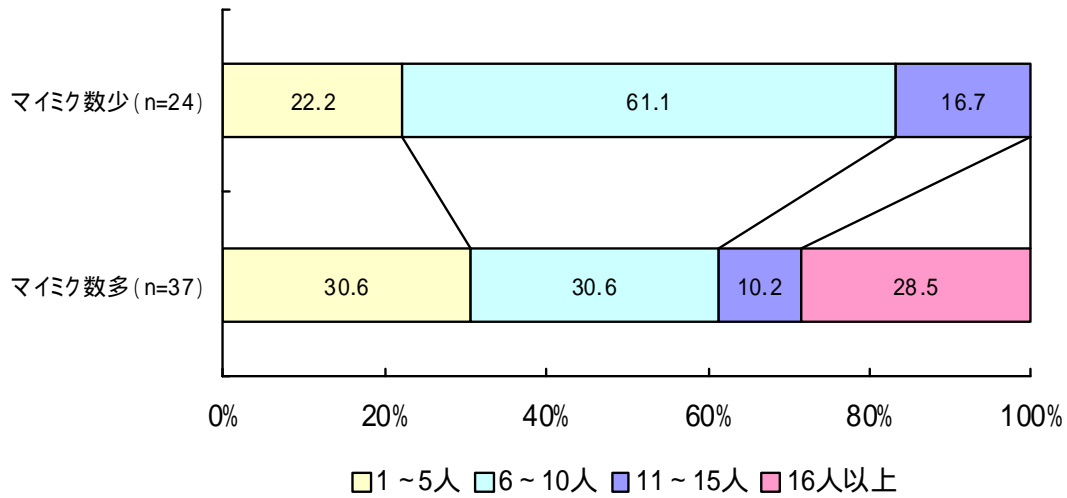
図2-5-1 部員・サークル員数とマイミク数(2乗:**)



部活動・サークルに所属している学生を対象に、部員(サークル員)数を多数・少数で分けた各グループとマイミク数をクロス集計した。結果、部員(サークル員)数が多いほどマイミク数も多いことが分かった。ここから言えるのは、部員・サークル員とマイミク関係になる例が多いということだ。アルバイト員数とマイミク数をクロス集計してみたところ、有意差は見られなかった。以上から、同じ趣味や志を持つもの同士でマイミク関係になることが多いのではと推測する。

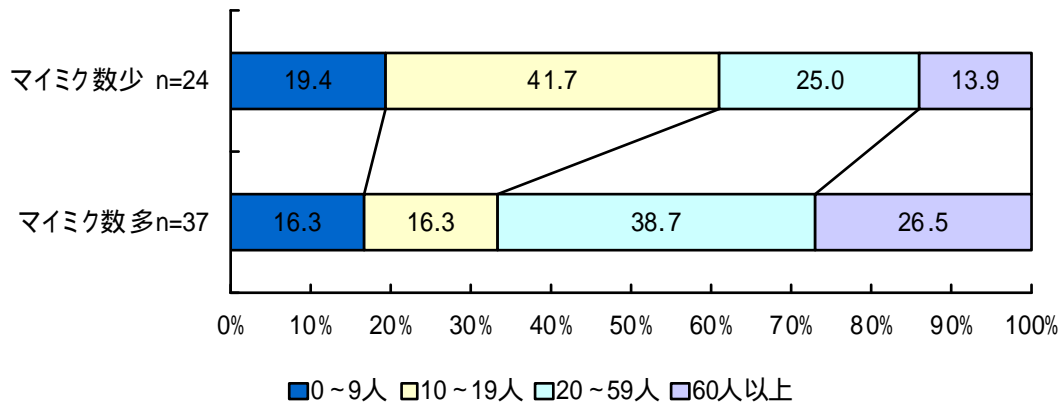
また、マイミク数と実生活での交友関係の広さ・深さに関連がないか調査した。

図2 - 5 - 2 マイミク数と大学で雑談する友人数(2乗:*)



マイミク数の多さによって大学で雑談する友人数に有意差が見られた。マイミクが多いほど大学で雑談する友人の数が多い傾向であった。大学外の人間関係に関しては以下の通りである。

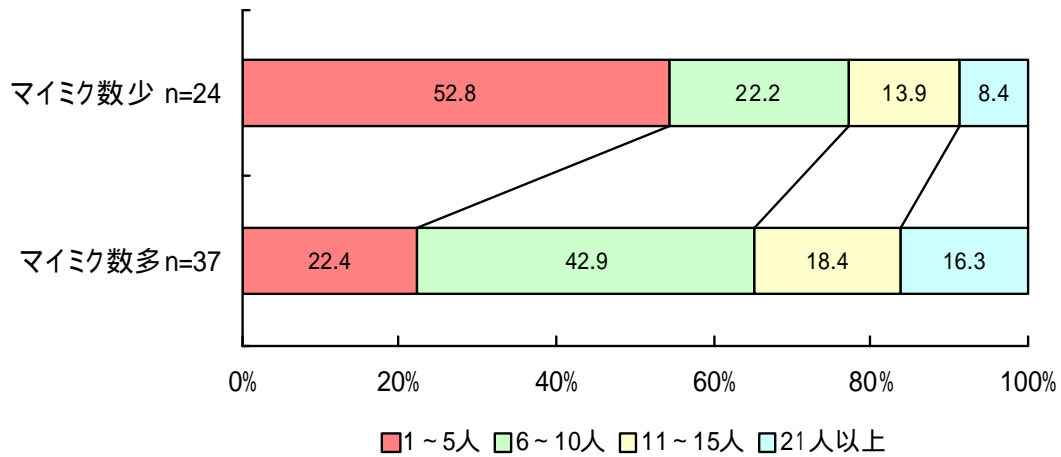
図2 - 5 - 3 マイミク数と大学外の友人数(2乗:*)



マイミク数が多いほど大学内の友人だけでなく、大学外の友人数も多いということが分かった。マイミク数の多さは実生活での交友関係の広さと関連があった。マイミクが多い (mixi での交友関係が広い) ほど実生活での交友関係も広い。つまり、実生活の交友関係がそのまま mixi 上に反映されているとわかる。mixi へのアクセス頻度や一日平均利用時間と交友関係の広さには有意差は見られなかった。

また、他者とのコミュニケーションにおける積極性がマイミクの多さや交友関係の広さに関わっているようだ。

図2 - 5 - 4 マイミク数と何度も遊びたい友人数 (2乗:*)



ま

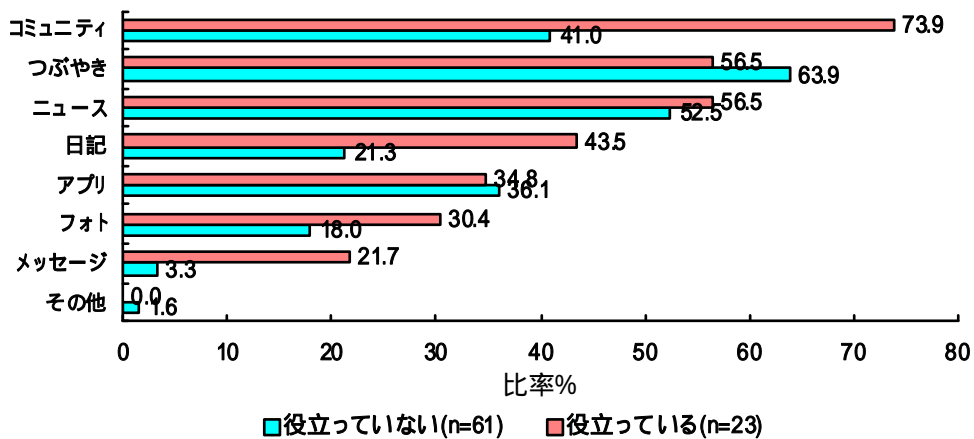
た、マイミク数が多い人は何度も一緒に遊びにいきたいと思う友人数も多かった。マイミクが多いほど深い交友関係の友人も多いようだ。

以上の分析から、mixi の利用度が高く、マイミクの多い学生は他者とのコミュニケーションに対し積極性が見られ、実生活でもその性格により広く一部深い交友関係を築いていることが分かった。

2 . 6 新たな友人作りが目的の mixi 利用者の特徴

mixi 利用を通して新たな友人作りをしている利用者は少数だったが、mixi は新たな人間関係の構築にはどのように役立っているのだろうか。新たに友人を増やす目的で mixi を利用している人と、そうでない人の利用方法や特性に差異があるか分析した。

図2 - 6 - 1 mixiの友人作り役立ち具合とよく利用するmixiの機能

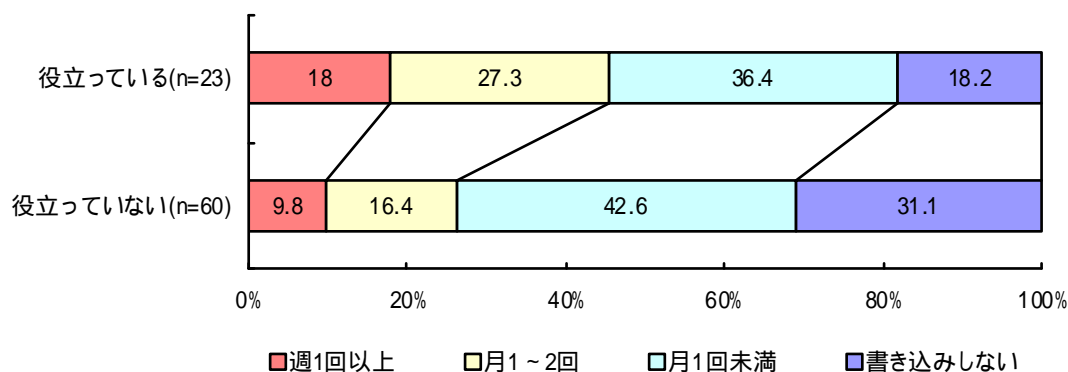


まず、よく利用する機能から分析した。

図2 - 6 - 1より、新たな友人関係を作るために mixi を利用している人は、そうでない人に比べ、コミュニティの利用度が明らかに高いということがわかった。新たな友人作りに mixi が役立っていると答えた利用者は約74%がコミュニティをよく利用している。役立っていないと答えた利用者のコミュニティ利用度の41%に比べると、違いは明らかだ。友人・知人との関係補強のため mixi を利用している者にとってコミュニティは情報収集の役割が大きい。新たな友人作りをする者にとっては、共通の趣味を持つ人物を見つけるなど、他者とのコミュニケーションに関わる役割が大きいようだ。また、日記やフォト、メッセージといった他者交流に関わるだろう機能の利用が、新たな友人作りに mixi が役立つと答えた利用者はそうでない者に比べ、いずれも20%前後高い。

新規友人関係の構築には主にコミュニティ他、日記、フォト、メッセージなど他者との交流ツールの利用度が関わっていることが分かった。では、書き込みをする頻度に差はあるのだろうか。

図2 - 6 - 2 mixiの友人作り役立ち具合と日記書き込み頻度

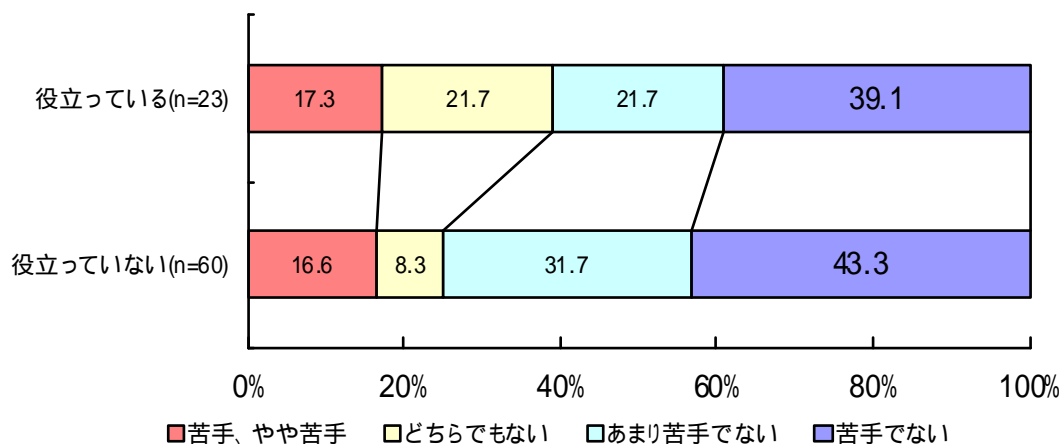


調査

全体で見ると日記への書き込み頻度は低い。図2 - 6 - 2を見ると有意差はないが、mixi が友人作りに役立っていると答えた者のほうがそれ以外の回答者より日記の書き込み頻度が高い。他、つぶやきの書き込み頻度やコミュニティへの書き込み頻度も、有意差は無いが高い傾向が見られた。書き込みを多くしている利用者ほど新たな友人を得ているようだ。

では mixi を友人作りのために使っている利用者の性格はどのようなものだろうか。有意差が見られた性格・特徴が下記である。

図2 - 6 - 3 mixiの友人作り役立ち具合と一人行動が苦手な程度(2乗:*)



mixi を新たな友人作りに利用している者は、そうでない者に比べ、一人行動が苦手な傾向があるようだった。一人行動が「あまり苦手でない」「苦手でない」と答えた回答者は、mixi が新たな友人作りに役に立っていないと答えた利用者は75%に及んでいるが、役に立っていると答えた利用者は61%に留まり、約15%近くの差があった。交友関係の広さや深さに有意差は見られなかった。

mixi を新たな友人作りのため利用している者は同じ趣味を持つ友人を欲している傾向があり、他者交流のための機能を活用していた。周囲に同じ趣味の友人がいない、もしくは同じ趣味の友人を増やしたいという思いがmixi 利用に繋がると、書き込み頻度を高めるようだ。

第3章 まとめと今後の課題

学生の mixi 利用は浸透しており、コミュニケーションの一環としての役割を担っているようだ。学生は主に情報収集、交友関係補強のために mixi を利用していた。実生活での交友関係が広いほどマイミクが多いなど、実生活での交友関係がそのまま mixi に反映されているような印象を受けた。実生活の友人関係への満足度が高いためか、新たな友人関係を築こうとする姿勢はあまり見られず、内輪な利用が多い。mixi は知人・友人との仲を補強するための役割が大きい。交友関係を広めるためのツールと言うよりは、交友関係を深めることに重点が置かれているように思う。

mixi の利用目的によってアクセス頻度や利用時間など、利用度に違いがあることが分かった。他者とのコミュニケーションのために mixi を利用している者ほど mixi の利用度が高かった。利用度が低い者は主に情報収集をメインとした使い方をしていた。また、アクセス頻度が高い利用者ほど、孤独感を感じていることがわかった。mixi を利用することによって、実生活でもオンラインでも知人・友人と繋がっているという安心感を得ているように感じた。だがこの結果に関しては、孤独感を解消するために mixi 利用をしていると受け取れると同時に、mixi の利用によって逆に孤独への不安が強まっている可能性も否定できない。辻(2006)の携帯メールと孤独不安の研究の例のように、常に他者と繋がり得る状況でのつながりの空白はより強い孤独不安を生み出すことから、mixi でも同じように、孤独感を埋めるための利用が、孤独になることへの不安を強めるという悪循環な状態になっている可能性もある。今後、mixi 利用の動機と孤独に対する不安がどのような関係にあるのか調査を進めるべきだと思った。mixi を利用していて交友関係や情動に変化があったかという点も調査していきたい。

mixi を新たな友人作りに利用している者は全体では少数だが、コミュニティや日記などの他者交流に役立つツールをよく利用している傾向があり、書きこむ頻度も高いという特徴があった。コミュニティの利用が明らかに高いことから、同じ趣味・趣向の友人を欲しているようだ。実生活で同じ趣味を持つ人物が少ないか、もしくは同じ趣味を持つ友人をより一層増やしたいという願望があつての利用かもしれない。書き込みを頻繁にする利用者ほど新たな友人作りに有効であることもわかった。友人を作りたいという気持ちが強いほど、mixi 上での自己呈示・自己開示が促進されるようだ。

mixi に代替するようなコミュニケーションサイトやツールの存在は明らかにならなかった。近年利用者が爆発的に増加している twitter を mixi と同時に利用している者が 37%ほど見られたが、twitter の利用が mixi の利用に取って替わる影響は今調査では見られなかった。mixi が果たす役

割と twitter が果たす役割がそれぞれ違うためだと推測する。学生のコミュニケーション行動をより深く分析するためには twitter など他のコミュニケーションサイトの利用状況、利用目的についても詳しく調査していく必要性を感じた。

mixi での人間関係と実生活での交友関係はそれぞれ独立したものではなく、実生活での交友関係が mixi の利用に繋がっていることがわかった。

参考文献

- ・資料 1 . 調査の単純集計結果
- ・資料 2 . SNS 研究会(川浦康至、坂田正樹、松田光恵) (2006)
ソーシャルネット・ワーキングサービスの利用に関する調査 mixi ユーザーの意識と行動
- ・資料 3 . 小寺 敦之 (2009) 若者のコミュニケーション空間の展開
- SNS 『mixi』の利用と満足、および携帯メール利用との関連性
- ・資料 4 . 辻 大介 (2005). つながりの不安と携帯メール 関西大学社会学部紀要、37、43-52.
http://www.tku.ac.jp/~koho/kiyou/contents/communication/23/tkujcs23_k_s_m.pdf
- ・資料 5 . 原田和英 (2007) 巨大人脈 SNS のチカラ 朝日新聞社

mixi に関する調査

情報学部広報学科「社会調査」 工藤志帆

「社会調査」の授業のための調査です。無記名ですので率直にお答えください。

問1 mixi に登録していますか。(1つに) n=133

1. している 64.7	2. 以前はしていたがやめた 6.8
問2 2へ	
3. したことがない 28.6 問2 2へ	

問2 mixi でよく利用する機能はなんですか。(当てはまるもの全部に) n=86

1. 日記 27.9	2. つぶやき 61.6	3. コミュニティ 50.0	4. フォト 22.1
5. アプリ 34.9	6. ニュース 54.7	7. メッセージ 8.1	8. その他 1.2

問3 mixi に平均どのくらいの頻度でアクセスしますか。(1つに) n=86

1. 1日10回以上 27.9	2. 1日5回~9回 27.9	3. 1日1回~4回 30.2
4. 週3~6回 7.0	5. 週1~2回 1.2	6. 月1~2回 2.3
7. 月1回未満 3.5		

問4 mixi を一日平均でどのくらいの長さ利用しますか。(1つに) n=86

1. 5分未満 12.8	2. 5~10分未満 19.8	3. 10分~30分未満 31.4
4. 30分~1時間未満 12.8	5. 1~2時間未満 15.1	6. 2~3時間未満 3.5
7. 3~4時間未満 4.7	8. 4時間以上 0.0	

問5 mixi はどういう点で役立っていますか。

以下のa~cについて最も当てはまる番号を教えてください。(それぞれ1つに) n=86

	役立っている	やや役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
a. 知人・友人との仲を深める	37.2	47.7	7.0	5.8	2.3
b. 新たに友達を増やす	7.0	19.8	31.4	39.5	2.3
c. 情報収集	55.8	32.6	5.8	3.5	2.3

問6 マイミクの数はどのくらいですか。(1つに) n=86

1. 5人未満 1.2	2. 5人~9人 3.5	3. 10人~19人 11.6	4. 20人~29人 3.5
5. 30人~49人 22.1	6. 50人~69人 10.5	7. 70人~99人 14.0	8. 100人以上 32.6
9. 無回答 1.2			

問7 マイミクに顔見知りはどのくらいいますか。(1つに) n=86

1. 全員 54.7	2. 8~9割程度 37.2	3. 5~7割程度 5.8	4. 1~4割程度 1.2
5. いらない 1.2			

問8 mixi の日記にどのくらいの頻度で書き込みしますか。(1つに) n=86

1. 1日複数回 2.3	2. 1日1回 1.2	3. 週5~6回 1.2	4. 週3~4回 4.7
5. 週1~2回 2.3	6. 月1~2回 18.6	7. 月1回未満 41.9	8. 書き込みしない 26.7
9. 無回答 1.2			

問9 mixi のつぶやきにどのくらいの頻度で書き込みしますか。(1つに) n=86

1. 1日複数回 15.1	2. 1日1回 3.5	3. 週5~6回 10.5	4. 週3~4回 7.0
5. 週1~2回 19.8	6. 月1~2回 12.8	7. 月1回未満 8.1	8. 書き込みしない 23.3

問10 mixiのコミュニティにいくつ参加していますか。(1つに)n=86

1. 1~5個	18.6	2. 6~14個	11.6	3. 15~29個	10.5	4. 30~49個	20.9
5. 50~69個	5.8	6. 70~99個	9.3	7. 100~149個	5.8	8. 150~199個	4.7
9. 200個以上	7.0	10. 0個	5.8	問13へ			

問11 mixiのコミュニティにどのくらいの頻度で書き込みしますか。(1つに)n=82

1. 1日複数回	0.0	2. 1日1回	2.4	3. 週5~6回	1.2	4. 週3~4回	0.0
5. 週1~2回	0.0	6. 月1~2回	4.9	7. 月1回未満	15.9	8. 書き込みしない	74.4
9. 無回答	1.2						

問12 コミュニティに参加する目的はなんですか。(1つに)n=82

1. 共通の趣味の友人を作るため	2.4	2. 情報収集のため	63.3
3. オフ会やイベントに参加するため	2.4	4. 自分の趣味を知ってもらうため	2.4
5. なんとなく	13.4	6. その他	4.9
7. 無回答	11.0		

問13 日記の基本的な公開範囲はどれですか。(1つに)n=86

1. 全体公開	11.6	2. 友人の友人まで公開	8.1	3. 友人まで公開	69.8
4. 指定した友人まで公開	8.1	5. 非公開	1.2	6. 無回答	1.2

問14 マイミク承認をどんな基準で行なっていますか。(1つに)n=86

1. リクエストが来たら誰でも承認	4.7	2. 何度かやりとりがあったら承認	15.1
3. 顔見知りのみ承認	61.6	4. その時の気分次第で承認	17.4
5. その他	1.2		

問15 プロフィールを詳細に書いていますか。(1つに)n=86

1. とても詳細に書いている	2.3	2. やや詳細に書いている	29.1
3. あまり詳細でない	47.7	4. 全く詳細でない	20.9

問16 マイミクの日記をどのくらい読みますか。(1つに)n=86

1. 更新されたものは大体読む	65.1	2. ほぼ読むが読まないものもある	24.4
3. 読まないものが多い	7.0	4. 読まない	3.5

問17 人の書き込み(日記やつぶやきなど)に対してコメントをしますか。(1つに)n=86

1. よくする	27.9	2. ときどきする	52.3
3. あまりしない	10.5	4. しない	9.3
問20へ			

問18 主にどんな日記やつぶやきによくコメントをつけますか。(1つに)n=80

1. 仲の良い友人の書き込み	31.3	2. 内容が気になった書き込み	52.5
3. たまたま見た書き込み	2.5	4. 特に意識したことはない	11.3
5. 無回答	2.5		

問19 自分の書いた日記1件につき、他者から平均いくつのコメントがつきますか。(1つに)n=80

1. 0件	6.3	2. 1~2件	8.8	3. 3~5件	17.5	4. 5~7件	11.3
5. 7~10件	17.5	6. 10件以上	35.0	7. 無回答	3.8		

問20 mixiにどのくらい満足していますか。(1つに)n=86

1. とても満足	8.1	2. やや満足	60.5	3. どちらともいえない	22.1
4. やや不満	3.5	5. とても不満	3.5	6. 無回答	2.3

問21 あなたは下記a~eの人のmixiでの書き込みに対し、どれくらいコメントしやすいですか。最も当てはまる番号を教えてください。(それぞれ1つに)n=86

	しやすい	やや しやすい	やや しづらい	しづらい	無回答
a. マイミクでなく、過去に交流のない人	2.3	8.1	16.3	72.1	1.2
b. マイミクでないがネット上の知り合い	9.3	17.4	20.9	51.2	1.2
c. マイミクでないが顔見知り	11.6	22.1	27.9	36.0	2.3
d. マイミクかつネット上の知り合い	22.1	37.2	16.3	22.1	2.3
e. マイミクかつ顔見知り	74.4	19.8	3.5	1.2	1.2

問23へお進みください

問22 問1でmixiを「2. 以前利用していたがやめた」「3. したことがない」と答えた方にお聞きします。

mixiを利用しない理由はなんですか。(1つに)n=49

1. 面倒くさいから	26.5	2. 必要性を感じないから	46.9
3. 他のSNS、twitter等を利用しているから	8.2	4. 機能が難解だから	2.0
5. その他	10.2	6. 無回答	6.1

問23 mixi以外で現在よく利用しているサイトはなんですか。(あてはまるもの全てに)n=133

1. GREE	3.0	2. twitter	36.8	3. モバゲータウン	9.0	4. 他 SNS	3.8
5. ブログ	22.6	6. BBS	3.8	7. チャット	1.5		
8. どれも利用していない	24.1	9. 無回答	16.5				

以下は実生活での交友関係についてお聞きします。

問24 部活・サークルに所属している人にお聞きします。(所属していない人は問25へお進みください。)

部員・サークル員の人数はどのくらいですか。(1つに)n=89

1. 10~19人	12.4	2. 20人~29人	14.6	3. 30~39人	16.9	4. 40~49人	4.5
5. 50人以上	51.7						

問25 アルバイトをしている人にお聞きします。(していない人は問26へお進みください)

アルバイトの人数はどのくらいですか。(1つに)n=99

1. 5人以下	14.1	2. 6~9人	17.2	3. 10~19人	34.3
4. 20~29人	18.2	5. 30~39人	9.1	6. 40人以上	7.1

問26 普段メールのやりとりをする友人はどのくらいいますか。(1つに)n=133

1. いない	1.5	2. 1~5人	65.4	3. 6~10人	27.1	4. 11人~15人	3.0
5. 16~20人	0.0	6. 21~25人	0.8	7. 26人~30人	1.5	8. 31人以上	1.5
9. 無回答	0.8						

問27 普段大学で雑談をする友人はどのくらいいますか。(1つに)n=133

1. いない	0.8	2. 1~5人	36.1	3. 6~10人	39.1	4. 11人~15人	9.0
5. 16~20人	8.3	6. 21~25人	1.5	7. 26人~30人	2.3	8. 31人以上	3.0

問28 大学外の友人はどのくらいいますか。(1つに)n=133

1. いない	0.8	2. 1~9人	28.6	3. 10~19人	25.6	4. 20人~29人	13.5
5. 30~39人	5.3	6. 40~49人	8.3	7. 50~59人	1.5	8. 60人以上	15.8
9. 無回答	0.8						

問29 インターネットで知り合った人はどのくらいいますか。(1つに)n=133

1. いない	61.7	2. 1~5人	23.3	3. 6~10人	3.0	4. 11人~15人	4.5
5. 16~20人	2.3	6. 21~25人	2.3	7. 26人~30人	0.8	8. 31人以上	1.5
9. 無回答	0.8						

問30 付き合いが5年以上の友人はどのくらいいますか。(1つに)n=133

1. いない	1.5	2. 1~5人	30.1	3. 6~10人	27.8	4. 11人~15人	12.8
5. 16~20人	7.5	6. 21~25人	1.5	7. 26人~30人	5.3	8. 31人以上	12.8
9. 無回答	0.8						

問31 悩み相談が出来る友人はどのくらいいますか。(1つに)n=133

1. いない	1.5	2. 1~5人	75.2	3. 6~10人	15.0	4. 11人~15人	2.3
5. 16~20人	0.8	6. 21~25人	3.0	7. 26人~30人	0.0	8. 31人以上	0.8
9. 無回答	0.8						

問32 何度も一緒に遊びに行きたいと思う友人はどのくらいいますか。(1つに)n=133

1. いない	0.0	2. 1~5人	44.4	3. 6~10人	28.6	4. 11人~15人	12.0
5. 16~20人	3.0	6. 21~25人	4.5	7. 26人~30人	1.5	8. 31人以上	5.3
9. 無回答	0.8						

問33 あなたは下記の条件にどのくらいあてはまりますか。最も当てはまる番号を教えてください。(それぞれ1つに)n=133

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
a. 初めて話す人ともすぐ打ち解けられる	13.5	24.1	21.8	23.3	16.5	0.8
b. 人と話すのが好き	23.3	42.1	20.3	7.5	6.0	0.8
c. 自分から積極的に話す	12.8	30.1	19.5	24.8	11.3	1.5
d. 自分から積極的に遊びに誘う	11.3	21.1	18.0	32.2	16.5	0.8
e. リーダーを務めることが多い	9.0	24.8	24.1	18.0	23.3	0.8
f. 一人で行動するのが苦手	8.3	8.3	12.8	27.1	42.9	0.8
g. 用事が無くても人と連絡を取る	5.3	15.8	14.3	30.8	33.1	0.8
h. 人からの連絡が少ないと不安だ	6.0	15.0	20.3	27.8	30.1	0.8

F1 あなたの性別を教えてください。(1つに)n=133

1. 男	36.8	2. 女	62.4	3. 無回答	0.8
------	------	------	------	--------	-----

F2 あなたの学年を教えてください。(1つに)n=133

1. 1年	0.0	2. 2年	46.6	3. 3年	42.9	4. 4年	9.8
5. 無回答	0.8						

F3 あなたの住まいを教えてください。(1つに)n=133

1. 一人暮らし	57.9	2. 実家	40.6	3. その他	0.8	4. 無回答	0.8
----------	------	-------	------	--------	-----	--------	-----

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。